

# 平成21年度JGUアルゴス料金表

( 1 / 2 )

有効期間：平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

## 1. JGUアルゴス基本サービス

### 1-1. 月当り稼働送信機基本料

料金コード	項 目	単 位	料金(税別,円)
A	PTT (アルゴス送信機) 稼働月次基本料 送信機が当該月に一度でも送信した場合に課金される	PTT	3,200

### 1-2. 用途ごと利用料金

料金コード	項 目	単 位	料金(税別,円)
B 1	漂流ブイ・係留ブイ・その他	PTT・日(4スロット)	1,100
B 2 1	中層フロート	PTT・日(4スロット)	1,800
B 2 2	動物追跡 PTT毎その月の利用合計が12PTT・日(48スロット)を超えたスロットは課金されない	PTT・日(4スロット)	1,800
B 3	固定観測	PTT・日(4スロット)	540
B 4	ハイデータレート送信 (トライトンブイ) 注：PMTハイデータレート送信も含む	PTT・日(4スロット)	2,200
B 9 0	インアクティブサービス 下記の解説4. 参照	PTT・日	0

### 1-3. 長期不利用アルゴスID番号 月次保有料

料金コード	項 目	単 位	料金(税別,円)
C 1	長期不利用アルゴスID番号 月次保有料 少なくとも2年間全く送信のないアルゴスID番号を保持している場合	PTT	540

解説：

#### 1. アルゴス利用料計算

アルゴス利用料の計算は、基本的には下記項目の合計となります。

1-1. PTT (アルゴス送信機) 稼働月次基本料

1-2. 用途ごと利用料金

その他に、ユーザが希望されたアルゴス付加サービス料が加算されます。また、ユーザが少なくとも2年間全く送信のないアルゴスID番号を保持している場合は、毎月長期不利用アルゴスID番号保有料が加算されます。

#### 2. PTT・日の定義

ここでいう1日とは、世界標準時で0:00から24:00までで、この間に1つのPTT (アルゴス送信機) からの電波を1回でも受信すれば、1PTT・日として課金の対象となります。逆に、その1日のうちに、一度も受信のなかったPTTについては、課金の対象とはなりません。

#### 3. PTT・日(4スロット)の定義

1日を4つのスロット(0-6, 6-12, 12-18, 18-24時：世界標準時)に分割し、該当するスロットに対して課金します。1スロットは0.25PTT・日とカウントされます。

例：ひとつのPTTがある日世界標準時の3-11時の8時間のみ送信した場合、スロット0-6, 6-12, の2スロットに該当し、このPTTのその日の利用量は、2スロット x 0.25PTT・日=0.5PTT・日となります。

一方、世界標準時の5-13時の8時間のみ送信した場合、スロット0-6, 6-12, 12-18の3スロットに該当し、利用量は、3スロット x 0.25PTT・日=0.75PTT・日となります。

#### 4. PTT運用の終了とインアクティブサービス

システムの特性上、衛星は、PTTからの電波が到達すればすべてこれを受信し、データ処理センターはこれを必ず処理します。このため、衛星が受信したPTTからの電波は、原則としてすべて課金の対象となります。したがって、運用の終了したPTTは必ずスイッチをオフにし送信を止める必要があり、送信の止まらないかぎり課金されます。

送信を止めることが不可能な場合は、アルゴス利用申請書の署名者により書面にてインアクティブサービスを宣言することができます。このサービスを適用できるのは、当該PTTがそれまでに少なくとも2ヶ月間運用されている場合に限りです。一度インアクティブサービスを適用したPTTを再び運用することはできません。インアクティブサービス宣言の書面を受領後、原則翌月から当該PTTについては稼働月次基本料のみが課金されます。インアクティブサービスが適用されたPTTのデータは配信されません。

#### 5. ユーザプログラムに割り当てられたID番号による送信は、PTTメーカーでのテスト発信を含め、すべてユーザに課金されます。

# 平成21年度JGUアルゴス料金表

(2 / 2)

有効期間：平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

## 2. JGUアルゴス付加サービス

### 2-1. ARGOSデータ自動配信サービス（アルゴスダイレクトサービス）

料金コード	項目	単位	料金(税別, 円)
T 1 2	FAX による自動配信	Kbyte	744
T 1 3	FAX による自動配信（インマルサット）	Kbyte	1,728
T 4 0	E-mailまたはftpによる自動配信（最低1Kbyteから）	Kbyte	12
T 5 0	1ヶ月分データを一括E-mail配信 （データ量が1Mbyte以下の場合）	月	21,000
T 6 0	1ヶ月分データを一括E-mail配信 （データ量が1Mbyteを超える場合）	月	36,000

### 2-2. ARGOS Website

	アルゴスデータ Website (10日分データオンライン)		無料
--	--------------------------------	--	----

### 2-3. データ処理のプロダクト・その他

料金コード	項目	単位	料金(税別, 円)
B 5 0	CD-ROM（データ量が1Mbyte以下の場合）	CD-ROM	21,000
B 6 0	CD-ROM（データ量が1Mbyteを超える場合）	CD-ROM	36,000
P 1 0	ポップアップ対照度センサ位置補正処理（下記解説参照）	ポップアップ対	99,000
P 1 1	アルゴス基本サービスとのパッケージ	ポップアップ対	115,000
P 1 2	上記料金コードP11のパッケージ登録料	ポップアップ対	8,000
P 2 0	マルチパス位置算出	PTT・位置算出	6,400
C 1 1	遡っての処理(12ヶ月まで)の追加料（CD-ROM代別）	月	14,000
C 2 0	データ処理の変更	PTT・変更	6,000
C 2 0	パスワードの変更	変更	6,000
	送信機の追加・削除/GTSIに関わるデータ処理の変更		無料

### 2-4. 繫留ブイ監視(MBM)サービス及び海中繫留ブイ監視(SMM)サービス

料金コード	項目	単位	料金(税別, 円)
K 9 9	係留ブイ監視(MBM)サービス（通常監視時）	PTT・日	1,152
K 9 8	“ “ “ “（アラーム時）	PTT・日	3,000
K 9 5	海中係留ブイ監視(SMM)サービス （3ヶ月当り3PTT・日分のアルゴスB1サービスを含む）	月 / PTT	4,350

### 2-5. アルゴスモニターサービス

料金コード	項目	単位	料金(税別, 円)
M 1 0	アルゴスモニターサービス 追加料（下記解説参照）	PTT・日	100

解説：

6. ポップアップ対照度センサ位置補正処理とは

SST、海底地形、行動モデルによって照度センサ位置データをフィルタリング・補正する付加サービスです。

7. マルチパス位置算出とは

ひとつの衛星通過（衛星パス）時にPTTから受信するメッセージが非常に少なく、位置算出が不可能等の場合に、複数の衛星パスで受けたメッセージをもとにして、CLS社の専門家により手動で位置算出するサービスです。

8. アルゴスモニターサービスとは

アルゴスデータに含まれる位置やセンサーデータをモニターする付加サービスです。例えば、位置であればある範囲内にあるかどうか、センサーデータであれば電池の電圧レベルや温度などをモニターします。モニターの結果を、メールやFAXなどで指定先に送る事が出来ます。但しその場合は別途上記2-1. ARGOSデータ自動配信サービスの費用がかかります。詳細についてはお問い合わせください。